

2026年4月7日

## 令和8年度 放射線治療専門放射線技師認定試験の実施について

一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構

理事長 佐藤 弘史



令和8年度放射線治療専門放射線技師認定試験を下記の要領にて実施いたします。

この認定は、日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会・日本放射線腫瘍学会が協調して設立した本機構が、放射線治療に従事する診療放射線技師の専門性を統一的に評価することを目的に実施するものです。令和4年8月1日発出の健発0801第16号「がん診療連携拠点病院等の整備について」における拠点病院指定要件において、放射線治療に関する専門資格を有した診療放射線技師の配置が望ましいとされており、この専門資格に本認定資格は該当するものです。また、先進医療としておこなう陽子線治療・重粒子線治療の施設基準(保険医療機関に係る基準)においても、本認定資格を持つ診療放射線技師の配置が必要とされているところです。

専門領域における十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な放射線治療技術を提供できる診療放射線技師であることを示すものとして、これまでに延べ2521名を認定してきました。放射線治療に携わる多くの診療放射線技師の皆様の受験をお待ちいたします。

### 記

#### 1. 受験資格

以下の要件を満たすことが必要です。

- (1) 診療放射線技師の免許を有すること
- (2) 通算5年以上放射線治療に関する診療業務を行っていること
- (3) 日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会、日本診療放射線技師会のいずれかに5年以上継続して会員籍を有していること
- (4) 過去5年以内に、別に定める認定単位を20単位以上取得していること。ただし、そのうち10単位以上は、認定単位表にある必須単位であること
- (5) 放射線治療に関する業績を有することが望ましい

## 2. 試験会場

以下の2会場で試験を実施いたします。

1)東京会場
中央医療技術専門学校 (東京都葛飾区)
2)大阪会場
森ノ宮医療大学 (大阪府大阪市)

## 3. 受験手数料

33,000円(税込) ※受験資格審査後にクレジットカード決済をご案内いたします。  
※施設等からの振込には対応致しかねます。ご了承下さい。

## 4. 申請書類

- (1) 申請書(様式1) (※インターネット上の専用フォーム内への入力)
- (2) 略歴・個人票(様式2)
- (3) 放射線治療業務従事証明書(様式3)  
(※施設長による公印での証明が必要です。)
- (4) 単位取得状況申告書(様式4)
- (5) 単位取得状況を証明するものの写し (学会等の参加については、必ず記名された出席証明書の写しが必要です。)
- (6) 診療放射線技師免許証の写し
- (7) 様式1に入力した学会在籍歴を証明する書状(会員システム画面内の年会費納入履歴画面の印刷など。履歴と氏名が同一画面上で確認できる必要があります。)
- (8) 証明用顔写真(胸上、脱帽、正面等の一般的な証明写真の条件に準拠のこと。)

このうち(2)～(7)は記入した用紙をスキャナでPDF化したファイルを、(8)はJPEG形式の画像ファイルをアップロードしていただきます。圧縮ファイルや指定以外のファイル形式は受理いたしません。

## 5. 申請方法

受験希望者はホームページ(<https://www.radiation-therapy.jp/>)に申請期間内に設置される受験申請フォームから必要事項を入力し、各様式や証明書状等ファイルについては電子化したファイルをアップロードしていただきます。誤ったファイルの提出や記載不備については受理いたしません。(不合格扱いとなります)

### ・ 申請時の受験会場について

受験申請者は2会場のうちから、受験を希望する会場を選択してください。申請者の住所による受験会場の指定等はありません。なお、すべての会場で送迎を含め施設内への車両の乗り入れは禁止されておりますので厳守願います。

## 6. 電子ファイルでの様式・証明書状提出について

別資料としてホームページ上に詳しく説明を用意しております。受験申請までに熟読の上、円滑な申請ができるようご準備願います。記入例等を参考にして不備の無いようご注意ください。電子ファイルのハンドリングに関して機構ではサポートできかねます。

## 7. 申請期間

2026年6月1日(月)～ 6月6日(土)(午後5時終了)

## 8. 受験手数料について

受験手数料は、資格審査後に電子メールにて案内される認定教育セミナー受講のためのe-learningサイト内においてお支払い下さい。この際の支払い方法はクレジットカード決済のみとなります。施設からの振込等、カード決済以外のお支払い方法には対応できかねます。領収書名は申込者個人名となり、施設名の追加等は承れません。

(利用可能カードブランド： VISA/MASTER/JCB/AMEX/DINERS/DISCOVER)

## 9. 受験資格審査について

受験資格審査は、専用フォームにより提出された内容に基づき、申込終了後に認定委員会が実施いたします。なお、書類の記載不備や電子ファイルの欠落等については事務局では扱えません。こうした不備は一律に不合格判定となりますので、慎重に確認した後に申請を

行ってください。ホームページ上で案内される“申請に関する注意事項”をあらかじめ熟読ください。すべての審査終了後、申込時に登録されたメールアドレスに審査結果を通知いたします。

#### 10. 認定試験について

日時：2026年8月30日(日) 午前11時受付開始

会場：必ず送付された受験票でご確認ください。

試験：	12:00 - 13:30	統合領域	90分
	14:00 - 15:30	専門基礎領域	90分

試験科目：放射線治療に関する以下の科目とします。

##### 【統合領域】

・放射線治療技術 ・放射線計測 ・放射線物理

##### 【専門基礎領域】

・放射線腫瘍学 ・放射線治療技術 ・放射線計測  
・放射線治療装置および治療計画装置の品質保証, 品質管理  
・放射線物理 ・放射線生物 ・粒子線治療 ・放射線看護  
・セーフティマネジメント ・放射線安全管理

※注意： 解答にはマークシートを使用しますので、必ず鉛筆と消しゴムを持参下さい。また、統合領域の試験では電卓が利用できます。ただし、計算式を記憶できる関数電卓やPDA(スマートウォッチ含む)、携帯電話等の利用はできませんのでご注意下さい。

統合領域試験における出題範囲(知識・技能の細目):

大項目	中項目	小項目
放射線治療技術	治療装置の機械的精度	品質管理
	患者セットアップと画像誘導	
	IMRT・定位放射線治療	
	陽子線・重粒子線治療	
	密封小線源治療	
	治療計画	
放射線計測	不確かさ	計測値の有効数字
		誤差と誤差の伝播
	線量分布	PDD, TMR, TPR
		測定技術
		荷電粒子平衡
		照射法と等線量分布
	線量分布の解析	平坦度, 対称性
		DVH
	吸収線量評価法	線質指標
		X線と電子線の水吸収線量
		加速器の出力評価と校正
		等価照射野
		MU値計算
小線源 $\gamma$ 線の線量計算		
計測機器	取り扱い, 品質管理	
放射線物理	放射線の相互作用	光子と物質の相互作用
		荷電粒子と物質の相互作用
		阻止能

## 11 . 認定教育セミナーについて

すべての受験者は、認定教育セミナーの受講が必須となります。受験資格審査後に案内される内容に従って、受講申し込みと受験手数料の支払いを完了してください。申し込み後は開催期間内に必ず受講を完了していただく必要があります。受講期間後は理由に係わらず聴講できません。受講を完了しない場合、受験資格を失うこととなりますのでご注意ください。

セミナー受講期間：2026年7月6日(月)～19日(日)

セミナー会場：e-learning システムを用いたオンラインセミナー

セミナープログラム: (予定)

科 目	講 師
放射線治療概論	藤井 武 (東京慈恵会医科大学附属病院)
放射線治療技術	山下 祐美恵 (大阪急性期・総合医療センター)
放射線計測学(X線)	中島 大 (がん研究会有明病院)
放射線計測学(電子線)	辰己 大作 (都島放射線科クリニック)
品質保証・品質管理(治療装置)	中島 大 (がん研究会有明病院)
品質保証・品質管理(治療計画)	藤田 幸男 (駒澤大学)
粒子線治療	佐藤 弘史 (九州国際重粒子線がん治療センター)
放射線看護	佐藤 弘史 (九州国際重粒子線がん治療センター)
セーフティマネジメント	山本 鋭二郎 (大阪府済生会野江病院)
放射線安全管理	飯田 紀世一 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

科目ごとの時間数はe-learning システム内でご確認ください。

### 【注意事項】

※教育セミナーの受講資料は下記テキストとなります。他に配布資料はありません。

書籍名 放射線治療技術標準テキスト (店頭在庫のみ)

(2019年1月発行) 編集 奥村雅彦・小口宏・保科正夫

発行所 株式会社 医学書院

価 格 7,700円(税込)

ISBN978-4-260-03605-4

および

書籍名 放射線治療技術標準テキスト 第2版

(2026年4月発行) 編集 奥村雅彦/ 小口 宏/ 川村慎二 ほか

発行所 株式会社 医学書院

価格 9,900円(本体9,000円+税)

ISBN 978-4-260-06253-4

## 12. 受験票について

認定教育セミナーの受講が確認された後に受験票が送付されます。認定教育セミナーの受講が確認できない場合には、受験を放棄したものとみなし受験票の発送はいたしません。

## 13. 試験合格者の認定登録について

認定試験合格者は、合格発表時の案内に従って期限内に認定証交付の申請をおこなって下さい。本機構のデータベースに登録され、認定証の交付を受けた時点で放射線治療専門放射線技師として認定されることになります。期限までに申請のない場合、合格は無効となりますので十分ご注意ください。

## 14 . 過去問題について

過去の試験問題は、本機構の機関誌にて一部を公開しています。必要な方は、ホームページ内の出版事業のページにある機関誌の案内を確認の上、ご購入下さい。なお、解答や解説などの問い合わせにはお答えいたしかねます。

## 15 . 受験手数料の領収証について

領収証は e-learning システム内の「マイページ>決済履歴」からダウンロード可能です。但し書きは「放射線治療専門放射線技師認定試験受験手数料(認定教育セミナー受講)」と表示されます。ダウンロード期間は受講終了から3か月後までです。受験手数料については認定教育セミナー受講と受験を区分した金額設定はありません。認定教育セミナー受講後に受験されなかった場合にも一部返金等は承っておりません。また、認定教育セミナーを受講せず受験資格を失った場合にもキャンセルは承れません。あらかじめご承知おきください。

## 16 . 試験会場での注意事項

受験を申し込まれた時点で、下記の事項に同意したものとみなします。ご一読ください。

- ① 本人確認のために求められた場合を除き、必ず不織布マスクを着用してください。
- ② 体調不良もしくはその疑いのある方は入場できません。
- ③ 会場内では主催者の誘導・案内にしたがっていただきます。
- ④ 感染拡大防止のため、手指消毒の徹底や座席間隔の保持にご協力いただきます。
- ⑤ 発生するゴミについては、すべて各自で持ち帰っていただきます。
- ⑥ 建物内に限らず、会場により飲食・喫煙が禁止されている場所では、ルールを厳守していただきます。
- ⑦ 忘れ物等の保管・管理はおこないませんので十分ご注意ください。
- ⑧ 送迎を含め受験会場への車両の乗り入れは固くお断りいたします。最寄り駐車場を利用されるか、公共交通機関を利用してください。

## 17 . 受験に関する問い合わせ

受験申請に関する FAQ をホームページ上に掲載しております。まずはそちらでご確認ください。( <https://www.radiation-therapy.jp/faq.shtml> )

お問い合わせいただく際には、ホームページ最下部にある問合せフォームへのリンク ( <https://www.radiation-therapy.jp/form/inquiry.html> ) からお願いいたします。ファイルアップロードの完了確認や電話によるお問い合わせには対応いたしかねます。なお、認定試験および認定教育セミナーに関する変更の案内はホームページ上で告知いたします。申請後も適宜ご確認いただきますようお願いいたします。

受験申請・単位認定に関する FAQ はこちら→



以上

---